

R4年度 鳥羽志摩中学校新人大会(バレーボールの部)

1. 日時 : 9月24日(土) 予備日 9月25日(日)
2. 会場 : 鳥羽市民体育館 開会式 9:10 (開館 8:00)
3. 使用球 : 人工皮革4号検定球カーボール(ミカサ)

4. 責任者

総務	競技	審判	会場	会長	養護	専門部長
上村 加茂中	山本 磯部中	東 文岡中	川添 鳥羽東中	小林 文岡中	郷 文岡中	上村 加茂中

5. ルール : 2022年度(財)日本バレーボール協会制定の6人制規則に則る。

6. 競技方法 :
 - ・全試合3セットマッチとし、トーナメント戦で行う。
 - ・ベンチ入りは、監督、コーチ1名、マネージャー1名、選手16名以内とする。
 - ・監督、コーチは当該学校の教職員とする。ただし、学校長が認めた外部コーチ(継続的に指導にあたり、教育的配慮のできる社会人)のベンチ入りを認める。その際申請書を提出する。マネージャーは当該学校の教職員または生徒とする。
 - ・監督、コーチ、マネージャー、主将は規定のマークを所定の位置に付ける。
なお、監督、コーチは服装を統一することが望ましい。
 - ・審判・ラインジャッジ・点示・記録・アシスタントスコアラーは審判の割り当て表の通りに行う。
 - ・コートが濡れた場合は、基本的にコート内の選手がリベリングをする。(タオルを持たせる。)モップが必要な場合は、副審の指示のもとベンチの選手で行う。
 - ・試合(IF)終了後、5分間の合同練習を行う。その後にプロトコール。試合が連続するときは、15分試合間隔をあける。(10分コートをあけ、5分合同練習)
 - ・開閉会式においては、選手はユニホームで、マネージャー、ベンチ外選手はジャージで整列する。
 - ・各セットのどちらかのチームが13点とったときと30対30になったとき、WTO(30秒)をとる。

7. 組み合わせ : 別紙

8. 新型コロナウイルス感染防止について : 別紙

9. その他 :
 - ・表彰は、優勝・準優勝(表彰必要枚数2枚)とする。
 - ・急病やケガが発生した場合には、救護担当者が応急処置を施すが、その後は顧問や引率者で速やかに医療機関へ移送する。
 - ・貴重品や荷物は各チームで責任を持って管理する。
 - ・開会式閉会式を行う。開会式には全チームが出席すること。
 - ・天候により、鳥羽市定期菅島航路が運休や朝のみの一時運休の場合は、大会を延期する。その際、大会本部により6:00~6:30の間での判断とし6:30に各校に連絡をする。

令和4年度中体連新人大会新型コロナウイルス感染症対策資料

- 選手、大会役員、学校関係者（教師等）以外については、会場（体育館内）への入場を認めない。ただし生徒の保護者の入場は、部員1人につき1名のみ入場を認める。
- 参観者は、自チームの試合以外の時でも、体育館内にいてよい。
- 参観者は事前に検温を行い、体調がよくない場合は参観を控える。
- 参観者は入場時に受付（学校名、氏名等の記入）を行う。
- 参加選手、顧問、外部コーチは、朝の検温を行う。各チーム顧問は、生徒が集合した時点での体調チェックを行う（名簿に記入し本部に提出する）。体調がよくない場合（発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）は保護者に連絡し、迎えに来てもらい帰宅させる。また、前日から体調がよくない場合は無理をさせない。

- 会場の換気は、窓を常に開けておく。ただし風が強いなど開けておくことが難しい場合は、試合の間などの時間を使って換気を行う。
- 試合や、練習をしている選手以外は、基本的にマスクを着用する。試合中、選手は基本的にマスクを外してプレーをする（マスク着用でも構わない）。
- 選手およびベンチスタッフとも、手洗い、うがい、手指消毒をこまめに行う。
- 記録を担当する選手は、自分の筆記用具を持参する。ラインナップチケットは記録席の筆記用具を使わず、ベンチで書いて提出すること。
- 審判は、マスクまたはホイッスルカバーをつけて吹笛をする、または電子ホイッスルでも可。
- 試合開始と終了時にネットを挟んでの握手は行わず、エンドラインに整列したまま、礼をする。また、プロトコール時に、審判団との握手や主将同士の握手は行わない。
- セット間、試合間にボール、ネットのアルコール消毒を行う。
- 試合中、ベンチにいる監督、コーチおよび控え選手は、マスクを着用し距離をとって着席する。ベンチ内のコーチ、控え選手、観客については、声を出しての応援は控える。
- 体が接触するような円陣、ハイタッチなどの応援は控える。
- 水分補給用のドリンクは、各自で用意し試合中であっても回し飲みなどをしないようにする。
- 新型コロナウイルス感染症の感染状況や社会情勢によっては、延期や中止の判断をすることがありうる。さまざまな理由で、参加ができなくなったチームが出てきた場合は、その対戦相手は不戦勝として、大会は行う。